

[異常時通報連絡の公表文（様式 1－2）]

伊方発電所から通報連絡のあった異常について
(令和 6 年 1 月分)

R 6 . 2 . 13

原子力安全対策推進監

電話番号 089-912-2352

- 1 令和 6 年 1 月に、安全協定に基づき四国電力株式会社から県へ通報連絡があった異常は次のとおりですので、お知らせします。

県の 公表 区分	異常事項	発生年月日	概 要	管理 区域 該当	国へ の 報告	備考
C	火災報知器の誤動作 (共用設備)	6 . 1 . 6	伊方発電所構内の事務本館に設置する火災感知器が作動し、中央制御室に火災発生を示す信号が発信したことから、消防署へ連絡した。 当直員が現場確認を行い、炎や発煙等がないことを確認した。 本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能の影響はない。 その後、火災発生を示す信号が発信したエリアの火災感知器（9 個）を取り替え、火災発生を示す信号の再発信がないことから、火災感知器の誤動作と判断し、通常状態に復旧した。 また、消防署が現場にて火災ではないことを確認した。	外	×	今回 公表
C	火災報知器の誤動作 (共用設備)	6 . 1 . 9	伊方発電所構内の事務本館に設置する火災感知器が作動し、中央制御室に火災発生を示す信号が発信した。 当直員等が現場確認を行い、炎や発煙等がないことを確認した。 係員が現場確認を行い、詳細な点検が必要と判断した。 本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能の影響はない。 その後、今回作動した火災感知器および受信機盤の点検を実施し、設備に異常がないことを確認し、念のため、作動した火災感知器は取り替えた。 作業員への聞き取りにおいて、1 月 6 日の事象発生前に、作動した火災感知器が設置されている部屋のエアコンの吹き出し口を天井側（当該火災感知器の方向）に調整したこと、火災感知器の作動前に、同状態で当該エアコンを起動したことを確認した。 調査の結果、エアコンの温風により当該火災感知器の周囲温度が短時間で上昇し火災感知器が作動することを確認した。	外	×	今回 公表

県の公表区分	異常事項	発生年月日	概要	管理区域該当	国への報告	備考
			今後、当該火災感知器の周囲温度が短時間で上昇しないように、エアコンの設置場所を見直すとともに、設置する部屋に対し適切な出力のものに取り替える。それまでの間は当該エアコンを使用しないこととした。			

2 外部への放射能漏れや周辺環境放射線への影響はありませんでした。